

# 第5次青森県循環型社会形成推進計画 の基本方針



青森県ごみ減量応援キャラクター  
「ヘルーちゃん」

令和7年10月20日  
環境エネルギー部資源循環推進課

# 1. 第5次計画策定のポイント

1 事前の市町村アンケートの結果を踏まえ、市町村が抱える地域課題の解決に向けた連携を強化

⇒【重点取組①(継続、追加)、②(新規)】

2 本県のリサイクル率を向上させるため、民間業者によるプラスチックごみ及び食品廃棄物について、資源循環に向けた取組を強化

⇒【重点取組③、④(継続)】

3 専門用語や難解な表現を避け、県民、事業者及び市町村に平易で分かりやすい内容とし、全体のボリュームを削減



## 2. 第5次計画策定のポイント(市町村アンケート結果)

- 第5次計画策定にあたり、市町村に地域課題や、計画に盛り込むべき内容についてアンケートを実施。
- アンケートでは、「市町村が抱える地域課題の解決」や「事業者間連携によるリサイクルの促進」といった意見があり、本計画においてはこれらを反映させた視点が必要。

### 市町村アンケートの主な意見

#### 【市町村が抱える地域課題】

- ホタテ養殖残渣や農水産業系廃棄物への対応
- リチウムイオン電池、医療系廃棄物などの処理困難物への対応
- 高齢化、外国人への対応 等

#### 【第5次計画に盛り込むべき内容】

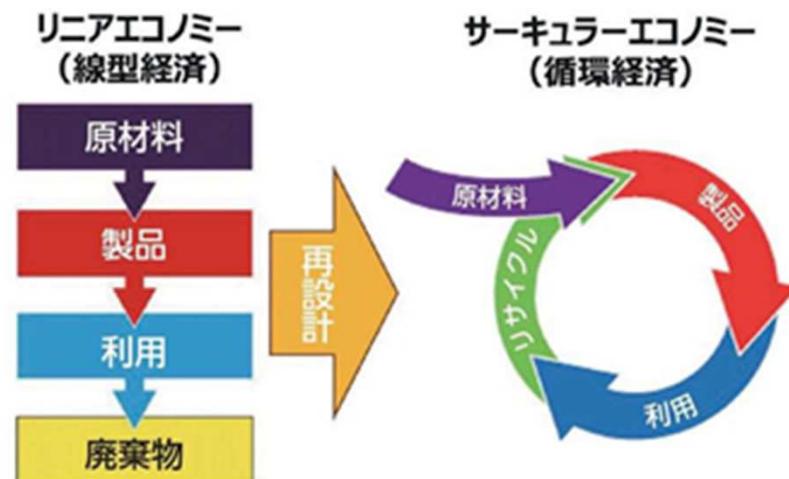
- 事業者連携によるリサイクルの促進や取組の具体例の記載 等

### 3. 第5次計画の策定のポイント(まとめ)

これらを踏まえ、次期計画では第4次計画を踏襲しつつ、構成を一部整理して、

●特に市町村の役割や地域課題の解決、県内のリサイクルの促進に向けた取組を明確にし、

●さらに国の基本計画における「循環経済」の考えを反映させ、地域の特性を生かした資源循環システム構築を図っていく。



循環経済(サーキュラーエコノミー):大量生産・大量消費の線形経済から、持続可能な形で資源を効率的・循的に有効利用する経済活動のこと。

## 4. 第5次計画の重点取組

### 〈第4次計画〉

1. プラスチック資源循環の推進
2. 食品ロス資源循環の推進
3. 行政・民間事業者各主体の連携強化

### 〈第5次計画〉

1. 行政・民間事業者各主体の連携強化による3R+の推進(継続、追加)
2. 市町村が抱える地域課題の解決(追加)
3. プラスチック資源循環の推進(継続)
4. 食品ロス資源循環の推進(継続)

## 5. 第5次計画の重点取組の内容(1)

---

### ①行政・民間事業者等各主体の連携強化による3R+の推進(継続、追加)

- ・3R推進に加え、再生可能資源への代替、リユースの促進など、循環経済への対応を踏まえた取組の拡大・実践の促進

3R+ : 3Rに加え、再生可能資源への代替など資源循環に向けた取組を促進すること。

### ②市町村が抱える地域課題の解決(新規)

- ・ホタテ養殖残渣など地域特有の農水産業系廃棄物のほか、市町村の処理困難物、高齢者や外国人への対応など、諸課題解決に向けた取組の推進

## 5. 第5次計画重点取組の内容(2)

### ③プラスチック資源循環の推進(継続)

- ・多様な主体が一体となったプラごみの削減や再生利用、適正処理の推進、資源循環に向けた取組強化



### ④食品ロス削減対策の推進(継続)

- ・多様な主体が一体となった食品廃棄物や食品ロスの削減、資源循環に向けた取組強化



## 6. 主な目標値の設定方針

---

### (1) 1人1日当たりごみ排出量

生活系ごみと事業系ごみの減量化に向けた施策を重点的に展開するため、それぞれ直近の削減率等を勘案して設定する。

### (2) リサイクル率

第4次計画と同様、民間回収分も含めたリサイクル率(県独自の調査)を目標値として、県内における動向を勘案して設定する。

### (3) その他個別目標

食品ロス削減やプラスチック資源循環に係る目標、地域資源循環に関する目標等を設定する。

## 7 策定までの主なスケジュール

令和7年10月 第1回循環型社会形成推進委員会(計画素案審議)

11月 第2回循環型社会形成推進委員会(計画原案審議)

12月 パブリックコメント実施(計画原案)

県環境審議会(計画原案説明)

令和8年 2月 県環境審議会(計画案の諮問・答申)

令和8年 3月 第5次計画策定



目標達成に向けて、各主体一丸となって取り組みます！

